

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～17.5℃台を示し、やや高い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.3トンの水揚げで、前週の2%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の57%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり175kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり4.6トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり67kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、スルメイカなどが1日1統当たり154kgの水揚げ。五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり153kgの水揚げ。北松生月地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり505kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり425kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり37kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/9日～2/13日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐の島西海区～山口沖及び太平洋赤イカ海区出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-5号 長崎県周辺海域の海面水温（2月号）」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>